

第18回理学懇話会のご意見

ご意見
プレゼンテーション「大阪大学のダイバーシティ研究環境実現を目指した取り組み」について
如何に具体的なアクションプランを作り、PDCAサイクルを回しながら昇華させていく必要があると思います。何をいつまでにどのレベルまでという目標を設定し、責任の所在を明確にしたプロジェクトを進めていく必要があると思います。
女性研究数の底上げが必要。その中での優秀な人材確保をどのようにしていくか。
企業の女性を社会人学生含め受け入れる体制は有効と思う。例えば、卒業生の女子学生をトレースし、時々、インバイトするとか有効では？
女性研究員に多様なキャリアパスを提供されていると思います。この施策をなんらかの形で広めて、中高生に認識していただきたいと思います。
大学で女性研究者を増加させることは大変難しい問題だと思います。研究者を目指す女子学生の地道な教育をして、大学で研究をしたいと思う学生を増加させるのが必要ではないでしょうか。
日本の社会環境、風習から変わらないと大学でのダイバーシティ達成はむつかしいように思います。また、クロスアポイントでは、給与の調整がむつかしいのでは？
女性研究者が大学の中で存在感を増すには、その出発点として大学入学時に女子学生が多いことが要ると思います。志望者には女子学生が多くなるような方策は？外国へ学生時代に出るチャンス(修士コースまでは比較的多くの女子学生が学ぶ。博士コースには進まないとのこと)女子研究者の就職と異動をしやすくする試みがあることを知りました。
プレゼンテーション「企業におけるダイバーシティ(研究)環境実現」について
民間企業では、労働条件(休暇・時短・保育施設 etc)が大きなカギとなり、女性の就業の課題となっています。人生の中で勤務の継続と分断(結婚・出産 etc)を如何に連続させる仕組みが必要。会社内では、教育プログラム、キャリアパスの見える化、女性同士の交流の場の設定等、孤立しない仕組みが有効になると思います。
国内企業においては、近年ダイバーシティに取り組んでいると思います、女性だけではなく外国人についても検討を進めようとしています。
「外国人の活用」この言葉を使用している限り、ダイバーシティ環境実現は遠い。女性のチャレンジを誘導するような制度はどうしてできないのか。
発表された2社の女性活用施策は、限られた環境で成り立っている。社会全体のしくみで考えるとどうなるのかももっと深く検討されるべき。
大学でのダイバーシティ、特に女性の活用については、制度のみならず文化まで含めて変革しないと労働時間が長すぎる。
プレゼンテーション「理学研究科の現状報告」について
産学連携の在り方を再考する必要がある気がします。基礎研究のみならず、経済活動との連携を意識した幅広い連携の中から新しい化学反応が生まれる気がします。(資金調達窓口も拡大)
高校生に阪大の魅力をどう伝えるのか。受け身ではないアピールが必要な時代になっているのではないかと感じました。
様変わりした大学を実感した。(ネット配信(講義)、著作権の問題、大学の長時間勤務)
e-ラーニングをもっと進めてほしい。
大学のかかえている問題が年々増えているように思える。(すぐに解決できるものではないが)
理学懇話会全体に関するご意見・ご感想
大学の問題がクリアーに見えたように思う。
大学の現状、昔との違いがよくわかりました。解決策は難しそうですね。
非常に良い討論会だった。国立大学の深刻な問題が良くわかった。企業の協力も不可欠で、産学の連携はもっと深めるべきである。
非常に多くのテーマが取り上げられて、有意義な会でした。自由な発言が出ました。よかったと思います。難しい問題が主に出ましたが、若い人の育成という基本的にポジティブな仕事をいかに良く行うかが話し合われたと思います。
産業界から理学教育・理学研究に期待すること
世の中の変化スピード内容にアジャストした産学連携に期待します。
専門性を高める教育だけでなく、成功体験をさせてほしい。
「流行に流されず自由な発想で研究できる環境の維持」は素晴らしい。是非実現して頂きたい。
中途半端な産学連携より圧倒的基礎研究、イノベティブな発想ができる人を育ててほしい。
社会との連携も重要ですが、基礎研究を大事にする姿勢も是非大事にして下さい。国に振り回されることなく自分たちは本当に何をやるべきか、やりたいかを考えていただきたいです。
現場で強力で活用できる理学教育研究を長期にわたって行ってほしい。
「基礎研究をベースにした産学連携」に期待すること
Win/Winが必要なのですが、現在医学系にフォーカスしている関係上、理学研究科は難しい点もあるように思いました。しかし、ぜひ進めたいものです。
新しい原理に基づく計測・分析法の提案。
共同開発に耐え得る提案力、シーズ。